

# クラークラダー

看護部/クラーク

ラダーレベル

部署

名前

| 業務        | 業務内容       | 必要な能力   | ラダーⅠ  | ラダーⅡ  | ラダーⅢ  |
|-----------|------------|---|---|---|---|
|           |            | 到達目標  | 基本的な手順などに従い必要に応じて助言を得て行動ができる  | 標準的なマニュアルなどに基づき自立して行動ができる   | 個別に応じた行動ができる  |
| 基本姿勢      | 社会性        | 社会人としてのマナー、規律に沿って責任ある行動がとれる                                       | 基本的なマニュアル等に従い必要に応じて助言を得ながら行動できる   | マニュアル等に基づき自立して行動できる   | 状況に沿って個別に応じた行動を取ることができる   |
|           | 自覚と責任ある行動  | 倫理的配慮のもと実践することができる<br>守秘義務・個人情報の保護等                               | 看護倫理を知ることができる<br>守秘義務や個人情報の枠組みを理解し助言を得て行動できる                                    | 倫理的側面を理解できる<br>守秘義務や個人情報保護の枠組みを理解し自立して行動できる                                   | 倫理的側面を理解し行動できる<br>守秘義務や個人情報の保護の枠組みを理解し個別に応じた行動ができる  |
| 自己教育      | 教育         | 自発的・継続的に学習できる   | 必須研修に参加できる<br>自己評価・他者評価から課題を明確にできる  | 自主的に研修参加ができる<br>自己の課題を明確にして取り組むことができる   | 実践したことを振り返り自己の課題が明確にでき取り組むことができる<br>クラークのモデルになるような業務実践ができ、指導・教育ができる   |
| 組織的役割遂行能力 | 役割業務       | 病院の機能や役割を理解し組織の中でチームの一員として役割を遂行できる                                | 日々の業務においてメンバーシップがとれる<br>報連相ができる   | 部署内での役割が理解でき部署の目標達成に向けて行動できる  | 他部署間での調整・情報共有・問題提供ができる<br>日々の業務において主体的に取り組むことができる   |
|           | 医療安全       | クラーク業務における医療安全・感染防止等  | 助言を得て医療安全・感染防止への取り組みができる<br>助言を得てリスク報告ができる                                      | 自立して医療安全・感染防止への取り組みができる<br>自立してリスク報告ができる                                      | 個別に応じた医療安全・感染防止への取り組みができる<br>リスク事例に対し対策・実践へ繋げることができる  |
| クラーク実践能力  | 生活環境に関わる業務 | 安全に配慮した環境調整ができる   | 助言を得て安全に配慮した環境調整が出来る  | 自立して安全に配慮した環境調整ができる   | 状況に応じ安全に配慮した環境調整ができる  |
|           | 診療に関わる業務   | 検査等の患者搬送補助が行える<br><br>医療機器・衛生材料の取り扱いができる<br>カルテ・検査検体等を確実に運搬・管理できる | 助言を得て必要時患者搬送補助が行える<br><br>助言を得て医療機器・衛生材料の取り扱いができる<br>助言を得てカルテ・検査検体等の準備、運搬、管理できる | 自立して安全に配慮した患者搬送補助が行える<br><br>自立して医療機器・衛生材料の取り扱いができる<br>自立してカルテ・検査検体等の取り扱いができる | 個別・状況に応じて必要な患者搬送補助が安全に行える<br><br>状況に応じて医療機器・衛生材料の取り扱いができる<br>状況に応じてカルテ・検査検体等を安全に運搬、管理できる<br>状況に応じて他部署との連絡調整ができる |